2023 **春号** No.048

市民の方々がご参加できるイベントが再開されています!

秋田県認知症疾患医療センター市民向け講演会「秋田で進む認知症予防の取り組み」について





転倒予防に重要な 下肢の筋力強化運動



最新機器・設備のご紹介

低侵襲手術支援ロボット 「daVinci」 について

肝胆膵外科長(消化器外科) 若林 俊樹



当院では新病院移転に伴い内視 鏡手術支援ロボット「ダビンチXil を導入しました。ロボット手術といっ てもロボットが自動で手術を行うの ではなく、患者さんのお腹に開けた

小さな穴に手術器具を取り付けたロボットアームと 内視鏡を挿入し、医師がサージョンコンソールと呼 ばれる操作ボックスの中で内視鏡画像を見ながら 操作して手術をします。

ダビンチの特徴

1体への負担が少ない

数か所の小さな切開部から手術を行うため、 傷が小さく、手術後の回復が早く患者さんの負 担が軽減されます。

2鮮明な3D(3次元)画像

コンソールモニターには高画質で立体的な手 術画像が写し出され、術者はリアルな立体画像 を見ながら手術を行うことができます。

3精密な動きを再現

ダビンチの手術器具は可動域が広くこれまで の手術で行うことの難しかった複雑な作業も可 能となります。また、手振れがないため高い集 中力が必要とされる細かな作業でも正確により 安全に手術が行えます。

令和5年2月の時点で泌尿器科領域では前立腺がん、膀胱瘤で、消化器外科領域では、直腸がん、膵腫瘍でロボット支援下手術が開始されており、胃がん、大腸がん、肝がん、婦人科領域の子宮摘出術でも導入予定となっています。



人工関節置換術用支援システム 「Mako」について

副院長(整形外科) 木村 善明



当院では新病院において、全国で50施設目となる人工関節置換術用手術支援システム「Mako(メイコー)」を導入し、2022年11月2日から膝および股関節の手術への

利用を開始しました。

Makoは、医師が人工関節を設置するために傷んだ骨を削る際その操作を制御します。治療計画にない部位を削らない仕組みになっており、安全かつ正確な手術が可能となり、人工関節の設置精度が向上します。

さらに人工股関節置換術では術後の脱臼の低減、人工膝関節置換術では術後の痛みなどの低減が得られ、従来の手術方法よりも患者さんの回復が早くなります。

膝の痛みや股関節の痛みで日常生活が大きく損なわれている患者さんが、健康的で自立した生活を再び送ることができるよう、当院ではMakoを用いた手術を積極的に行ってまいります。通常の保険診療ですのでお気軽にご相談下さい。



膝関節用ロボティックアーム(左)

ガイダンスモジュール(右)



人工股関節全置換術実施時

人工膝関節全置換術実施時

写真提供:日本ストライカー株式会社

高精度放射線治療装置 「Radixact」 について

低侵襲がん治療センター長 橋本 学



写真の装置が、現在我々が使用 している放射線治療装置です。まる で、CT・MRのような形ですね。

従来の装置に比べ、より選択的に (良・悪性)病変部位に照射して治

療することが可能な装置です。放射線を当てたくない部位は極力避けることが可能です。

放射線をより選択的に病変部位に照射することが可能となり、放射線による副作用を抑えつつ治療効果を高めることができます。根治治療・緩和治療ともに治療効果を高められる治療装置です。とりわけ、症状緩和と抗腫瘍効果を同時に発揮できる放射線治療は積極的な緩和治療に適しており、

患者様のQOL向上に貢献できます。 今後、さらに質の高い医療を提供できるよう努めていきます。



新病院にトイレ・シャワー完備の分娩室 LDRを新設しました!

中央診療部長(産婦人科) 福田 淳



LDRとはLabor (陣痛)、Delivery (分娩)、Recovery (回復)を略した言葉です。LDRでのお産は、陣痛・分娩・回復までを同じ部屋で行うことができます。陣痛室から分娩

室までの移動がなく体への負担が少ないこと、個室のため周囲を気にすることなく過ごせること、など多くのメリットがございます。 有料にはなりますが、ご希望の方は是非、産科外来にお問い合わせください。



令和4年度秋田県認知症疾患医療センター 市民向け講演会が開催されました

『認知症予防のために今日からできること』

日 時:令和5年1月21日(土) 10:00~11:30

会 場:5階 講堂

参加者:64名(院外54名、院内10名)

令和4年度の秋田県認知症疾患医療センター市民公 開講座を、当院の講堂で市民の方を迎えて開催しまし た。

特別講演として秋田大学高齢者医療先端研究センター大田秀隆センター長より「秋田で進む認知症予防の取り組み」をご講演いただきました。

身近な講演内容のため市民の方の関心が高く、参加 された方々に好評でした。

R5年度市民向け教室実施予定一覧

感染状況を見極め順次開催予定です!!

□転倒予防教室(年2回実施予定)

第1回目:4月~7月内で4クール実施 第2回目:8月~11月内で4クール実施

△がんサポート教室(年4回実施予定)

第1回目開催月:6月(予定)

※第2回目以降:調整中

➡肝臓教室(年5回)

開催月:6・7・9・11・2月(予定)

▶糖尿病教室(月1回実施予定)

第1回目開催月:6月(予定)

※第2回目以降:調整中

→その他各種教室等を企画中

ご参加お待ちしております。

正式な開催日等、詳細が決定後、当院ホームページや 広報あきた等に掲載予定ですので、そちらでご確認く ださい。

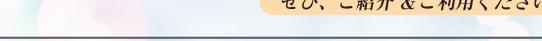
◎患者サポートセンター •••••••••••••••••

新病院開院に伴い新たに、1階総合案内に隣接する位置に各種支援・相談機能を一元化する「患者サポートセンター」を開設しました。看護師、社会福祉士(医療相談員)および事務員が常駐し、予約変更の問い合わせ、入退院支援、入院時の説明、医療福祉相談、地域医療連携等を、ワンストップで対応することができるようなりました。

具体的には…

- 医療福祉相談や困りごと等に関する相談対応を行います。
- ●入院生活等に関する説明を行います。
 - ・ 入院生活を安心して送れるように看護師による入 院前支援を行います。
 - ・薬剤情報を把握し、術前中止薬等ほか薬剤に関す る相談を行います。
- ●外来予約や予約変更を行います。
- ●地域の医療機関や福祉施設等との連携を図ります。
- ●管理栄養士による栄養相談を行います。

ぜひ、ご紹介&ご利用ください!



緩和ケア内科長(緩和ケア内科) 越村 裕美



緩和ケア病棟開設から5ヶ月が過ぎました。院内・院外からのご紹介が徐々に増えております。当病棟では総合病院内病棟であることを生かし、各診療科の先生方と協力して薬物療法以外の症状緩和や、併存疾患の治療を行っています。また、そのかたにとって最善の治療・ケアをご本人・ご家族との対話によって決めています。当院での療養をご希望のかたは主治医にご相談ください。







旧病院解体および 新病院屋外環境整備等工事について

令和4年5月26日に加藤建設・佐々木組・伊藤工業建設工事共同企業体と契約し、仮囲いの設置やアスベスト事前調査を実施した上で、適切な処理をしながら、昨年12月から、解体工事の現場施工を行っております。

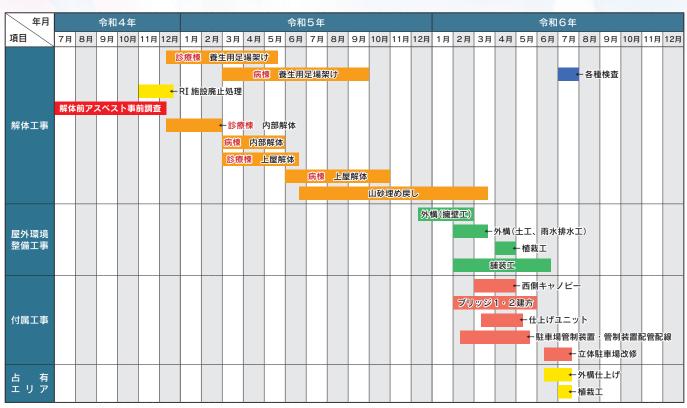
工事の内容は、旧病院を解体し、その跡地に平面駐車場やロータリー等の屋外環境整備を行うとともに、川元松丘街区公園を復旧するものです。工事は令和6年7月末までを予定しております。

安全第一に作業を進めてまいりますので、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

□ 完成イメージ (西側鳥瞰)



△スケジュール



|お|知|ら|せ|

"夜間頻尿"専門外来を開設いたしました(

夜のトイレの回数が多くて困っているかた、いらっしゃいませんか。夜間頻尿の原因は膀胱蓄尿障害、 睡眠障害、多尿、内科疾患による影響、生活習慣の問題など複数ありますので、患者さん個人の状況を 詳細に把握して問題点を探ることが重要です。各種検査を受けることで原因がわかったり、問診票や排 尿日誌を記載していただくことで生活習慣を見直すきつかけにもなります。

診察■ 毎週火曜日 午後 0 時から

担当 三浦喜子 医師

- 紹介状をお持ちの方は、診察がより円滑に行われます。
- ・完全予約制となっておりますので、電話での予約をお 願いします。

お問い合わせ先

予約センター

- ◎予約専用電話:018-867-7489◎受付時間:午前8時から午後3時
 - ※休診日(土曜日・日曜日・祝日を除く)

◆ オンライン資格確認システムの導入について

令和4年12月22日(木)よりマイナンバーカードを 利用した「オンライン資格確認システム」の運用を開 始しております。「オンライン資格確認システム」とは、 マイナンバーカードのICチップにより健康保険証の 記号番号等の情報を、オンラインでリアルタイムに確 認できる仕組みです。

オンライン資格確認端末の設置場所

- ◎総合受付(1台)
- ○各診療科ブロック受付(各ブロック1台)
- ◎時間外受付(1台)
- ※マイナンバーカードを健康保険証として利用するためには、あらかじめ「マイナポータル」で保険証 利用の申し込みが必要です。

詳しくは… https://myna.go.jp/html/hokenshoriyou top.html

患者の権利

- 1. 個人としていつも人格を尊重される権利があります。
- 2. 誰でも平等に良質で安全な医療を受ける権利があります。
- 3. 充分な説明を受け、自ら治療法を決定する権利があります。
- 4. 自分が受けている医療について知る権利があります。
- 5. 医療を受けるときに主治医以外の意見(セカンドオピニオン)を聞く権利があります。
- 6. あなたの医療上のプライバシーが保護される権利があります。
- 7. 自分が受けている医療について苦情を申し立てる権利があります。

市立秋田総合病院

理

市立秋田総合病院は、すべての人々の幸福のため、良質で安全な医療を提供し続けます。

基本方針

- 常に医療水準の向上に努め、地域の中核病院として多様化する医療への要望に応えます。
- 患者さんの権利や意思を十分に尊重し、診療情報の提供による相互理解に基づく医療を行います。
- 医療の安全のさらなる向上に努め、患者さんが安心できる医療を行います。
- ■職員にとり働きがいのある就労環境の整備に努め、質の高い医療人を育成します。
- 業務の改善と効率的な運営に努め、健全で安定した経営基盤を確立します。